



2017年3月開催用

「ビジネスと人権」研修（詳細説明）

**SustainaVision**

*Support the Development &  
Promotion of Sustainable Thinking*

## 目次

はじめに.....	2
タイトル .....	2
開催日時 .....	2
定員 .....	3
主催 .....	3
研修について .....	3
コース概要.....	4
対象者 .....	4
受講のメリット .....	5
参加者の声 .....	6
講師 ルーク・ワイルド氏.....	7
講師 下田屋毅.....	8
Twenty Fifty とは.....	9
お申込み・お問い合わせ.....	9

## はじめに

発展途上国の農村や先住民のコミュニティは、低コスト労働力と資源の需要の高まりの中、土地の強奪や強制退去にも直面しています。英国の調査機関のレポートによると、世界における人権侵害は、2008年から70%も上昇し、労働者の権利侵害は深刻化しています。そのような中、企業が関わる人権の問題は、国境を越えサプライチェーン上においてもカバーしなければならない最重要項目で、海外において人権侵害を訴えられ、NGOや市民団体などから非難されることも実際に起こっています。そのような中、2011年6月に国連人権理事会にて「ビジネスと人権に関する指導原則」が承認され、この国際的な基準に則り国と企業がそれぞれ役割を果たすことが期待されています。

本研修は、2008年から定期的に、ドイツ・グローバル・コンパクト・ネットワークとエンティ・フィフティ社が、ドイツにて開催。現在までは他に、英国、スイス、オーストリア、ケニア、インドネシア、ウクライナのグローバル・コンパクトのネットワークとそれぞれの地域において開催し効果を上げています。

この度海外で効果を上げている「ビジネスと人権」研修を2016年4月に引き続いて日本において開催し、日本とグローバルの人権意識のギャップを埋めるために実施すること、またグローバルでの人権課題について簡潔で実践的なアドバイスを提供いたします。

## タイトル

- 「ビジネスと人権」研修

## 開催日時

- 2017年3月10日（金）・11日（土）両日とも9:00～17:00  
約6か月後に研修の振り返りを行う研修があります。

## 開催場所

- 公益財団法人 国際文化会館

106-0032 東京都港区六本木 5-11-16

## 定員

- 16名

## 主催

- サステイナビジョン社（Sustainavision Ltd : <http://www.sustainavisionltd.com/>）

英国カンパニーズハウス、イングランド&ウェールズ登録 [Company No. 7477687](#)  
[在英日本商工会議所](#)会員企業

## 研修について

- 期間：2日間（3月10日・11日）、約6か月後の振り返り
- 研修では、人権について分かりやすく説明し、ビジネスの視点から国連指導原則を理解し、簡潔で実践的なアドバイスを提供いたします。
- 研修内では、参加者の特定の課題やニーズにお答えします
- アクション・ラーニング・モデルに基づいて行われます
- 講師と受講者の双方向でのやりとりで進められ、少人数でのグループワークやディスカッションを実施し効果的に学習をすることができます。
- 講師やゲストスピーカーが英語で講義をする場合には、通訳が付きます。

## 研修料金

カテゴリー	(表示額 1人当たり)
通常料金（個人）	155,000円
国連グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク加盟企業	120,000円
アーリーバード割引（早割） （2017年2月13日迄）10%	139,500円
会社割引（1社2人以上：15%）	131,750円
NGO/NPO、大学関係者、中小企業割引：20%	124,000円

## コース概要

- 内容は、レクチャーとグループワークがバランスよく織り交ぜられた集中プログラムです。
- 講師と受講者の双方向でのやり取りで進められ、より効果的に学習することができます。

### <1 日目>

- ✚ 人権に関する Q&A - ディスカッション
- ✚ ビジネス・ケースの考案 - エクササイズ
- ✚ ビジネスと人権に関する指導原則 - 概要
- ✚ 人権影響評価 - ケーススタディとグループワーク
- ✚ 人権方針の準備

### <2 日目>

- ✚ 人権に関する正当な注意義務及び努力の実施
- ✚ 紛争地域
- ✚ サプライチェーン
- ✚ コミュニティと改善方法
- ✚ 消費者と他の取引関係
- ✚ チャレンジと機会の統合
- ✚ パフォーマンスの追跡とコミュニケーションの進捗
- ✚ 日本の人権の意識と海外での人権の意識のギャップを埋める
- ✚ まとめ

6 か月後に、フォローアップ研修を開催

## 対象者

- 広報、CSR、サステナビリティ部門
- 人権担当部門
- CSR/サステナビリティ・プログラムの推進者
- 人事部門
- 資材・調達部門（サプライチェーン管理）
- 企業法務、コンプライアンス、リスクマネジメント部門

## 受講のメリット

- ✓ 基本的な人権について、またビジネスに関わる人権についての本来どのようなものなのか基本的な理解からより自社に関する内容までの理解を深めることができます。
- ✓ 国連ビジネスと人権に関する指導原則の幅広い内容が網羅されており、世界を見据えてビジネスと人権の観点から何が企業にとって重要かを学ぶことができます。また海外で今現在ビジネスに関わる人権について何が話されているのか、何が問題となっているのかを含めて今後の対応を検討することができます。
- ✓ 国際的な様々な業界の事例が豊富にあり、海外でのビジネスを行う場合に人権への配慮をどのようにしなければならないのかを事例から学ぶことができます。
- ✓ 内容は、レクチャーとグループワークがバランスよく織り交ぜられた集中プログラムです。講師と受講者の双方向でのやり取りで進められ、より効果的に学習することができます。
- ✓ 研修では、グローバルなケーススタディを活用し、グループワークを通じて実際に国内外で人権指導原則の実践が問われる場面をディスカッションします。
- ✓ 講師のルーク・ワイルド氏は、ドイツのグローバル・コンパクト・ネットワークとともに 2008 年からこのビジネスと人権の研修をドイツの企業向けに毎年開催し効果を上げています。また、グローバル・コンパクト・UK ネットワークとともに UK の企業向け、また、ウクライナ・キエフ、ケニア・ナイロビ、インドネシアにおいてもグローバル・コンパクトのネットワークと一緒に開催し効果を上げています。
- ✓ 講師の下田屋は、欧州・ロンドンに拠点を置き、CSR・サステナビリティに関する研修を行い経験が豊富です。また最新のビジネスと人権に関する情報を欧州・英国をベースとして入手していますので、本研修を通じて、世界の先進的な知識を得ることができます。
- ✓ ビジネスを行う背景における企業に関わる人権についての活発な議論を行います。
- ✓ サプライチェーンマネジメントの中では、アプローチの転換が必要となります。本研修ではどのようにアプローチすればよいのかを理解することができます。
- ✓ 人権方針の作成・浸透についての注意点、人権影響評価の方法、ギャップ分析をどのように実施するのか、苦情処理メカニズムをどのように機能させるのか、世界の紛争地域などでの対応をどのようにしたら良いのか、地域コミュニティとの対立をどう回避するのかなど実践的なことを学ぶことができます。
- ✓ また自社の取り組みにおいて、どのように進めていったらよいのかを、研修のそれぞれの部分で質問、議論することができ、今後のビジネスと人権についての戦略に活用することができます。

- ✓ 2日間の研修を通じて様々な業界のCSR/人権の関係者とのネットワーク構築をすることが出来ます。

### 参加者の声

（順不同、敬称略）

- 「人権問題、そして企業が与えている幅広い影響についてより深い洞察を得ることができた。ビジネスと人権に関する専門用語についての理解を深めることができた。どのように今後進めていけば良いかよく理解することができた。」
- 「ビジネスの機会において、人権に関連して企業が取り組むための、企業の推進のきっかけやモチベーションについて良く理解することができた」
- 「人権の背景にある非常に深い知識を得ることができた。人権方針の導入と次のステージへ進む上での実践的な方法について、より良いアイデアを得ることができた」
- 「我々の会社が、他社との比較でどの位置にいるのか理解することができた。」



講師 ルーク・ワイルド氏



ルーク・ワイルド氏（TwentyFifty エグゼクティブ・ディレクター）

ルーク・ワイルド氏は、2000年以來、企業責任、人権、サステナビリティに特定の焦点を当て、20年以上前からリーダーシップと組織開発に携わってきました。

ワイルド氏は、鉱業、金融、食品や工業分野における主要な企業とともに企業責任の尊重を導入する実用的なアプローチの開発、特にビジネスと人権の分野でのリーダーとして認識されています。また、取締役レベルのエンゲージメント、多文化、国際的なチーム、民間/公共部門と国連などに関する幅広い経験があります。

また彼は、多面的な才能のあるコンサルタントであり、強力な戦略と組織開発スキル、コーチングの経験、効果的なプロジェクト管理、リーダーシップと技術革新を企業にアドバイスするとともに、評判をもたらします。

ワイルド氏は、トエンティ・フィフティの以下のエンゲージメントをリードしてきました。

- アングロ・アメリカン社のサプライチェーンのサステナビリティ開発プログラムの概念と導入を支援
- 持続可能な農業戦略、持続可能カカオ調達、ステークホルダー・エンゲージメントの開発について、クラフトフーズ社とキャドバリー社へ戦略的な支援
- 英国法務省からの英国企業の人権の理解についての照会により、国連ビジネスと人権に関する指導原則を英国政府戦略として導入することへ貢献

ドイツのグローバル・コンパクトのネットワークとは 2008 年からビジネスと人権研修を実施。毎年 2 回の研修とフォローアップ研修を行い、メイン講師として研修を担当、また今までに、英国、ウクライナ、インドネシア、ケニアのグローバル・コンパクトのネットワークとビジネスと人権研修を開催し、同じくメイン講師として多くの企業のサポートを行ってきています。



講師 下田屋 毅



**下田屋毅（サステナビジョン代表取締役、ロンドン在住 CSR コンサルタント）**

英国ロンドン在住 CSR コンサルタント。日本と欧州との CSR の懸け橋となるべく Sustainavision Ltd. を 2010 年英国に設立。ロンドンに拠点を置き、CSR コンサルティング、CSR 研修、CSR 関連リサーチを実施している。また英国 IEMA が認定する「サステナビリティ（CSR）プラクティショナー資格講習」を 2012 年より日本にて定期開催。

2007 年渡英。英国イースト・アングリア大学環境科学修士、英国ランカスター大学 MBA（経営学修士）修了。ビジネス・ブレイクスルー大学非常勤教員（担当：CSR）、国際交流基金ロンドン CSR セミナーシリーズ 2011/2012 プロジェクトアドバイザー。

欧州のビジネスと人権に関する取り組みなどをセミナーやメディアへの寄稿を通して伝える。第 2 回～第 5 回 国連ビジネスと人権フォーラムに参加。

**セミナー・講演の開催：実績多数**

**<執筆・連載>**

- [「オルタナ・オンライン:欧州 CSR 最前線」](#)
- [「時事通信社 金融財政ビジネス・経済人」](#)
- [「東洋経済オンライン ここがへんだよ日本の CSR」](#)
- [「Sustainable Japan 下田屋毅氏の欧州 CSR 最新動向」](#)
- [「金融経済メディア ZUU オンライン」](#)
- [「シータス&ゼネラルプレス サステナビジョン下田屋毅氏に質問」](#)
- [「ブレンセンター・トピックス提言：CSR の推進に不可欠な社内浸透教育の重要性」](#)
- [「レスポンスアビリティ社 メルマガ、サスナビ 欧州ここだけの話」](#)
- [「新・CSR 検定 3 級公式テキスト」 3.世界の CSR をめぐる動きとは](#)

Twenty Fifty とは

twentyfifty®

<http://www.twentyfifty.co.uk/index.php>

Twenty Fifty（トエンティ・フィフティ）社は、CSR の中でも企業に関わる人権に焦点を当てたコンサルティングや研修を実施しており、英国サマーセットとドイツ・ベルリンに拠点があります。

Twenty Fifty（トエンティ・フィフティ）社は、国連グローバル・コンパクトのローカルのネットワークと関係が強く、ドイツのグローバル・コンパクトのネットワークとは2008年からビジネスと人権研修を実施。毎年2回の研修とフォローアップ研修を行いドイツ企業の人権に関する意識を高めるとともにサポートをしてきました。また2013年には、英国、ウクライナのグローバル・コンパクトのネットワークとのビジネスと人権研修を開催、2014年には、インドネシア、ケニアのグローバル・コンパクトのネットワークとビジネスと人権研修を開催しています。

その他、ビジネスと人権に関する指導原則に則って、人権方針の作成や人権デューデリジェンス、人権影響評価、苦情処理メカニズムなどの企業の実施をサポートし効果をあげています。

[お問合せ・お申込み](#)